【令和３年度第５回：ふれあい講座（World 編～私の国はこんなところ～）実施報告書】

２月 18 日（金）に「第５回ふれあい講座(world 編～私の国はこんなところ～)」を沖縄県内の新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮の上、オンライン方式で開催致しました。53 名（申込 77 件）の視聴者が参加しました。

今回は、沖縄県内在住の外国人のオジャさん（ネパール出身）エシさん（パラオ出身）フレッドさん（フランス出身）＆りかさん（通訳）ペトラさん（トリニダード・トバゴ出身）の４名をゲストスピーカーにお招きしました。オープニングでゲストスピーカーの自己紹介後、参加者全員を４つのグループに分け、ゲストスピーカーが８分間の時間の中で、自国について動画や写真、クイズ等を使って紹介しました。これを４回繰り返したプログラムとし、４か国について学ぶ機会となりました。

ネパールのオジャさんは地図を使い首都カトマンズやエベレスト山、仏陀の生誕地の位置を教えてくれました。また食べ物、たくさんの民族や言語があること、異なる民族の伝統衣装も写真で紹介してくれました。

フランスのフレッドさんは来沖して間もないので通訳のりかさんと夫婦漫才のように楽しいプレゼンテーションでフレッドさんの出身地のリヨンについて教えてくれました。日本とフランスの食べ物の自給率の違い、フランスがヨーロッパにおいて日本のアニメや漫画が一番好まれている事、リヨンで有名なフレンチレストランが日本にもあること等を話してくれました。

パラオ出身のエシさんは、現在琉球大学で留学生として学んでおりこの３月には卒業予定です。エシさんはパラオが沖縄と同じ島国であり美しい海に囲まれており日本との時差もなく沖縄と似ている事と話してくれました。パラオには日本の言葉が残って今でも生活の言葉として使われていることを教えてくれました。例えば、デンキバシラ＝電柱、アイコデショ＝じゃんけん、アジダイジョウブ＝美味しい、ツカレナオス＝ビールを飲むこと等です。このクイズは参加者興味を示し驚いておりました。

ペトラさんの国トリニダード・トバゴは、中米のカリブ海に浮かぶ大小２つの島で形成されていることを教えてくれました。海と太陽、自然、のんびりした人々が沖縄と似ている事を話してくれました。最後は全員揃った中で数名から感想を頂きました。

参加者のK.O 様は対面ではなくともオンラインでゲストスピーカーよりお話が伺えて有意義な時間だったと感想をおっしゃってくださいました。ご夫婦の参加者は、フレッドさんのご夫婦での掛け合いが楽しかったと喜んでおられました。ネパールからの留学生は同じ国のオジャさんが沖縄文化を学んでいることに感心しておりました。アンケートからはオンラインだと夕食時の忙しい時間でも子どもと参加できる、沖縄にいなくても（会場に行けなくても）参加できるメリットがあるの意見が多くありました。時間配分、プログラム構成の改善すべきするところの課題も見つかり、次回（来年度）に向けて良い交流事業を創っていきたいと思います。次年度は、６月に 2022 年度第１回目の開催予定となっております。

〈アンケート　特に印象に残ったことは何ですか？〉

・トリニダード・トバコやパラオなど、なかなか出会う機会のない方からお話を聞けたこと。今まで自分の中でイメージがない国だったので、行ってみたくなりました。

・仏陀がネパール生まれだということ！

・エイウィズシー（トリニダード・トバゴ）の挨拶がおもしろかった。いろんな人の話が聞けて楽しかった。くらげの湖に入って１回触ってみたいと思った。

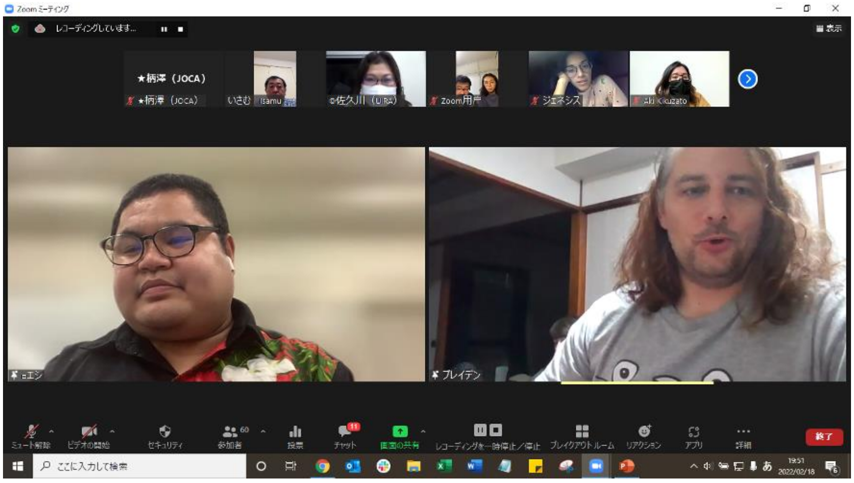
〈アンケートオンラインでの開催について、良い点・改善点をお聞かせください　〉

・オンラインだと家や職場からでも参加できるので、参加しやすい。今後不ラインになっても、オンラインでも参加できるようにハイブリッド希望。

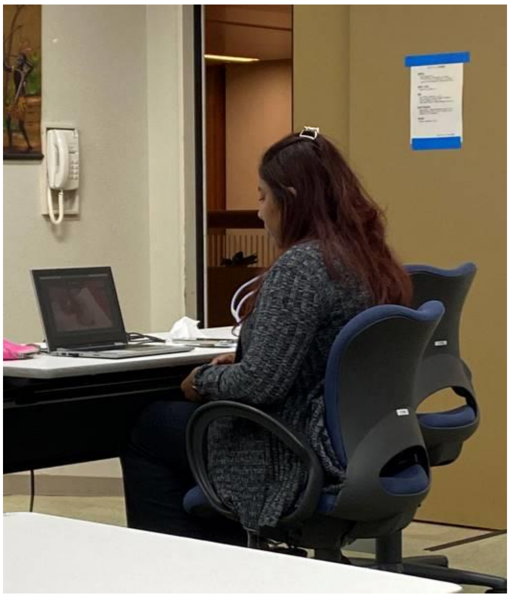
・良い点：ネット環境があれば、どこからでも参加できる事。改善点：映像が映っていない状態がありました。通信遅延などかもですね。

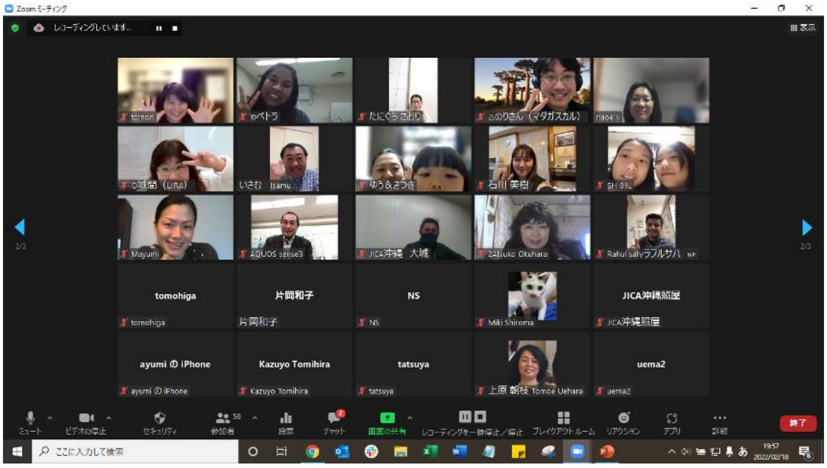
実施の様子

参加者より感想頂いてます
ゲストスピーカーはフレッドさん



浦添市国際交流員のブレイデンさんも
自宅からご家族と参加してくれました





ペトラさんの配信の様子

第５回ふれあい講座～参加者と画面で集合写真♪